

早雲だより

2020.2.20
第149号
歴史グループ早雲
代表 井上一夫

第一六四回 歴史ハイキング 報告

豊臣秀吉「神になった天下人」ゆかりの地を訪ねて

令和二年一月二十六日（日）

京の大仏

雨天の予報が良い方に外れて良い天気になりました。ハイキング参加者は27名でした。集合場所の京阪七条駅でハイキングの概要説明を行いました。「井内講座」を行いました。井内さんからクイズの出題と解答、そして正解者へ記念品の贈呈がありました。井内さんは「都合により今回はここでお別れしました。今回の歴史ハイキングは日本で一番有名と言ってもいい「豊臣秀吉」のゆかりの地を巡ります。

豊臣秀吉にまつわる物語を2つテーマに分けました。ひとつは「京の大仏」について、2つは「神」として祀られた豊臣秀吉についてです。

まず「大仏」ですが、秀吉の発願により大仏が造立されたのが1596年です

（大仏殿は南北約90m・東西約55m・高さ約48m、大仏は高さ約18m）。

東大寺の大仏殿・大仏より大きなものですが大地震により大仏が倒壊しました。

秀吉の死後、息子の秀頼が金銅の大仏の再建を始めましたが、1602年大仏からの火で大仏殿もろとも焼失してしまいました。それでもめげずに秀頼は大仏の再建に取り組みます。1612年にはほぼ完成しますが、その後起こった方広寺の梵鐘の銘文（国家安康・君臣豊楽）に徳川家が異議を申し立てたことから始まる大坂夏の陣で豊臣家が滅亡しました。それでも大仏殿と大仏は維持されました。しかし、1662年の地震で大仏が損壊。1798年に落雷で大仏殿が焼失するまで「京の大仏つあん」と親しまれていました。

天保年間（1830、44）に木造の大仏が造られました。これも昭和48年に落雷で焼失しました。

（ここまで京都に大仏は存在していたのです。

「京の大仏」は幾多の災難に遭いながらも大切に守られてきたのでした。

次は「神になった天下人」秀吉についてです。秀吉は時代の流れの中で大きく扱

いが変遷しました。秀吉は生前から死後神と崇められることを望んでいました。

秀吉は「新八幡」を望んでいました。後陽成天皇が

豊臣家に異議を申し立てたのは「豊国大明神」の神号でした。

ら賜ったのは「豊国大明神」の神号でした。

秀吉の死（1598年）で遺言により東山の阿弥陀ヶ峰に葬られました。山頂に「豊国廟」、山腹に現在の太閤壇に秀吉を祀る「豊国社」が創建されました。1604年の秀吉7回忌には豊国社で盛大に「臨時大例祭」が行われました。（豊国神社宝物館所蔵の「豊国祭礼凶屏風」に当時の様子が描かれています）

1615年の大坂夏の陣で豊臣家を滅亡させると徳川家康は、秀吉の神号の剥奪、「豊国廟」と「豊国社」の破却を命じましたが、秀吉の妻の高台院（ねね）の取り成しで「廟」と「社」の破却は免れて封鎖され放置されました。

1767年に豊国社跡に「新日吉神宮」が移転され豊国廟への参道を封鎖しました。江戸時代を通じて秀吉は冷遇されていました。

江戸時代から明治時代になると秀吉は復権しました。明治政府は徳川家に代わる象徴として秀吉を利用しました。秀吉は日清戦争の頃は朝鮮出兵の功績で英雄になっていました。明治になると豊国廟は整備され、「新日吉神宮」は移転され跡地は大岡坦になりました。大仏殿のあった巨大な石壁に囲まれた広大な空き地に現京都国立博物館と豊国神社が建てられました。現在

我々の目にしている風景は明治時代に作られたものだったのです。

散策状況

そんなことを頭に置きながら散策しました。

散策の道順は次のとおりです。京阪七条駅→松明殿稲荷神社→任天堂創業地→元和キリシタン殉教碑→正面通→耳塚→豊国神社(宝物館)(馬塚)→方広寺(梵鐘)→大仏殿跡緑地公園→

大仏殿石垣→大仏前交番→新日吉神宮→大岡坦(豊国社跡)(昼食)→養源院(解散) 各所の詳細な説明は省略します。

1619年にあったキリシタン弾圧「京都の大殉教」の地に元和キリシタン殉教碑があります。この付近の河原で処刑が行われましたが、大仏殿を見上げることのできる河原でのキリシタン処刑に為政者の思惑が感じられます。

豊国神社宝物館所蔵の「豊国祭礼図屏風」は1604年に行われた臨時大例祭の様子を描いていますが、ここに描かれている大仏殿はその時はありませんでした。それが描かれていることは豊臣家として大仏がいかに大切な意味を持っていたかが、うかがい知れます。方広寺では大仏殿の礎石が置いてありました。 今回の例会を準備して分らないことが2点ありました。

1つは豊国廟に秀吉のご遺体は残っているのか？ 2つは徳川家康が剥奪した秀吉の神号は復活したのか？

この疑問は豊国廟の受付におられた豊国神社の職員の方から教えていただきました。

1つの解答は「明治の整備の時にご遺体は残っておりませんでした。北西に向かい手を合わせ座ったお姿でした。今も豊国廟辺りに埋葬されています」でした。

2つの解答は「家康は正式に剥奪した訳ではない(そんな権利ももっていない)。家康は豊臣家があったことを認めないで無視するようにはしていた」でした。 私的には納得しました。 今回は豊国廟に上からず養源院を拝観して歴史ハイキングを終りました。今回、地元の方の参加、大岡坦におられた豊国神社の職員の方のご好意による解

説もあり散策を盛り多いものになりました。皆様のご協力によって楽しい例会になりました。ありがとうございました。

(文責 井上二夫)



写真：正面通から豊国神社



写真：方広寺梵鐘(萬木氏)



写真：豊国社跡(萬木氏)



写真：養源院参道(萬木氏)

一口感想

H・MA

井上会長の周到な準備として当日の適切・巧みな先導で実り豊かな楽しい歴史ハイキングをすることが出来ました。今回の豊臣秀吉ゆかりの地探索は私にとって非常に新鮮な経験でした。即ちこれまでに数え切れないほど京都を訪れ各地を散策していますが、耳塚をはじめ豊国神社・方広寺・大仏殿跡・新日吉神社・豊国社跡・養源院の全てが初めての探訪地で会長の詳細な解説もあり良い勉強になりました。特に印象に残ったのは方広寺の鐘楼、かの有名な梵鐘が見事に残っており、その大きさに驚くと共に有名な銘文をほっきりと読み取ることが出来たこと、そして、最後に訪れた養源

院の依屋宗達の杉戸絵と血天井。また機会があれば豊国廟参拝も加えて再訪問したいと思います。大変お世話になりました。心より感謝いたします。

「天下人ゆかり地巡り

冬うつらうつら」

◇◇◇◇

A・K

今回のコースは無理なく行けて良かったです。国立博物館はたまに行きませんが、裏側の方には足を運ぶ事がなく、知らない京都の歴史を知れて良かったです。観光客も少なくゆつくり見学できて良かったです。

◇◇◇◇

Y・H

本日は大変お疲れ様でした。予想に反して天気にも恵まれた一日でした。今回は市中で馴染のある場所でしたが訪れるのは初めての所ばかりで説明も大変良くわかりとても良かったです。中でも秀吉の骨の一部どころか全体が残っているのはびっくりしました。見たくないけれど感心しました。本日はまさに「歴史散歩」で楽しかったです。

◇◇◇◇

K・M

東福寺に任んでいますので、今日のコースはすべて見知っている所でしたが、詳しいことは殆んど知りませんでした。折角造った《京の大仏》の度重なる悲惨な運命、それに梵鐘の銘文が仇となるのは、神となった秀吉もあの世で嘆いたことでしょう。豊国廟に至る長い石段、若いころ上ったこと

◇◇◇◇

H・MO

がありますが、今は戻込みしてしまいます。帰ってから案内資料をゆつくり読み、巡ったコースを思い返すのも楽しいです。いつもお世話いただき有難うございます。次回もとても楽しみにしています。

例年の一月のハイキングは、京都特有の手足も凍えるような底冷えを予想していたが、異気象・地球温暖化の影響か、また週間予報での傘マークの連続も今日は曇り空から午後からは強い陽射しにも恵まれ、太閤坦の境内には紅梅が満開だった。

井上会長の今日の参加のメンバーの中の晴れ男・晴れ女に表彰状を上げたいくらいと言われましたが、全く同感です。

豊臣秀吉「神になった天下人」ゆかりの地を訪ねてであったが、大坂夏の陣後

の豊臣家滅亡、豊国社、豊国廟、豊国大明神の神号の廃止など徳川氏によって完全に破却されたが、明治維新後明治政府が国策として秀吉を使い、日清戦争では英雄とした。

時代によって、また時の政府・政治によって、神に悪にまた英雄にと違った形で祀り上げられたことを知った今日、いったい何を誰を信じていいのか、現在の安倍政権のよつで頭の中がコンガラカッテしまった。

それにしても秀吉の天下も平家物語の平清盛の沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす、おこれる人も久しからず、ただ、春の夜の夢のごとし、を地でゆくようである。豊国廟には、後日個人的に登ってみようと思う。

結婚式や初詣にも数回行ったことがある豊国神社は、今回歴史をしっかりと学べたことで、違った想いで楽しく見学することができました。

まだ三回しか参加させていただいていませんが、今後新しい知識を学ぶことで歴史をふり返り、自身をふり返られるよいきっかけをいただければと思います。

ありがとうございました。

◆◆◆◆

匿名

今回もとても楽しいコースでした。ありがとうございました。特に大極殿跡は恩師宅が近くに有り、行く度に大極殿を見てたし大仏を見たい思いながら火事を知りました。恩師宅は近所の方々が自宅に水を掛けて下さり無事でした。懐かしさ思い出して涙しました。

◆井内講座◆

京都クイズ

質問1

次の漢字の地名を読んでください。

- ① 水鶏橋(伏見区)
- ② 一口(久御山町)
- ③ 苗鹿(大津市)

質問2

東海道中膝栗毛の膝栗毛とはどういう意味でしょうか？

質問3

京料理のルーツになる基本的な料理が3つあります。そのうちのルーツの料理とは？

質問4

京都にある金閣寺、銀閣寺は金閣、銀閣と言われ日本中に有名です。それでは、銅閣寺というのは存在するのでしょうか？

質問5

A群に合っているものをB群から選んで下さい。

(A群)

- 1 ざるそば
- 2 身代わりの串
- 3 くくり猿
- 4 神猿(まきね)

(B群)

- a 八坂庚申堂
- b 日吉大社
- c 飛騨高山
- d ならまち庚申堂

【編集後記】

京都国立博物館や豊国神社のある場所に「京の大仏つあん」があったことをイメージするのは難しい。今も人気者の豊臣秀吉が歴史に翻弄されて評価が変化していたことも良く知られていない。今の景色が400年前から続いているように思ってしまった。少し違ったようです。

歴史ハイキングの報告は文字ばかりで読みにくいと思います。でも「大仏」と「豊臣秀吉」の変遷をpushえておけば豊国廟のある阿弥陀ヶ峰を見上げた時に周辺の景色の変化をイメージできるのではないかと。そんなことに挑戦した歴史ハイキングでした。今回もたくさんの一口感想をいただきました。好評だったので正直嬉しいです。いつもありがとうございます。ありがとうございました。(K・ー)

◆井内講座◆解答

質問1

- ① くいなばし
- ② いもあらう
- ③ のつか

質問2

徒歩で旅行をすること。

質問3

公家を中心とした「大饗料理」、武家を中心とした「本膳料理」、寺院を中心とした「精進料理」。

質問4

大雲院

質問5

- 1 は c
- 2 は d
- 3 は a
- 4 は b



【ほっとタイム】

早雲スタッフのお店の洋菓子。コーヒーと一緒に美味しくいただきました。